

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	6	納涼祭開催時には、家族さんと話しているいるな意見を聞いているが、家族同士が集まって施設に対する要望を聞く機会を作っていない	家族会の開催により、家族との関係をより深め、利用者の暮らしや、ケアについて意見や要望を聞く。	家族さんにより多く参加していただけるように、6ヶ月くらい前には、家族会の予定をお知らせし、帰る日時を調整してもらい、当月には決定した日時を知らせ、出欠を返信してもらうようにした。	12 か月	年1回、お月見を兼ねて家族会を開催するようになった。利用者さんも久しぶりに家族と一緒に食事をする事で喜んでくれた。早く知らせることで、日程の調整をしてもらえた。
2	13	防火訓練は年2回開催しているが、地震に対しては意識が薄く、開催していなかった。想定外ということも考えて開催する必要があると思った。	地震に対する危機意識を高め、もしもの時に犠牲者を出さないようにする。	想定外であっても訓練は必要であることを職員が意識して、訓練、準備をすることを話し合う。	12 か月	3月11日、地域のサイレンの合図にあわせて、グループホーム独自で訓練することが出来た。又運営推進会議でも、地域の人たちと、避難場所について話し合っている。
3	18	職員の制限により外出支援に困難さがあり、充分に外出レクが出来ていない。	利用者さんの思いに出来るだけ添えるようにする。	人員配置上外出が困難な時でも、その中で少しでも利用者さんが気分転換できるように工夫して、取り組んでいく。	12 か月	外部から来てもらい気分転換することも、利用者さんの楽しみになるのではない、カラオケボランティア、他ホーム、地域の方を招いての運動会、イベント等を考えることが出来た。
4					か月	
5					か月	